

③GRからは、そもそも、このセミナーの本質的テーマである、「軽量型ITサービスの本質とは何か」という点について、具体例を用いながらお話させていただきました。

始めましてGRです！  
「軽量型ITサービス」の  
本質と具体例

ゴールデンルールズ・コンサルティング株式会社  
Golden Rules Consulting, inc

2013年2月22日  
ゴールデンルールズ・コンサルティング  
声田 弘毅

例えば、iPadにしても、外来の患者さん説明用だけの用途というのは、本来タブレットが持っている能力の中でも限定的な一機能しか過ぎませんので、もっと本質にあるポテンシャルについて、働き方が変わる具体的事象を例示しながら解説しました。

<p>まず、そもそもの疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• iPadってなんだ？</li> <li>• Google Appsってなんだ？</li> <li>• なんのために、スマートフォンなんだ？</li> <li>• なんのために、クラウドなんだ？</li> </ul> <p>それは、時代の流れから、読み解くのがいいのでは？</p>	<p>軽量型ITサービスの理解のために</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療用⇔汎用</li> <li>2. 働き方が変わるということ</li> <li>3. 箱(ハード)より中身(情報)</li> <li>4. 工夫で乗り切る             <ul style="list-style-type: none"> <li>a) iPadで、遠隔電子カルテ(病院事例①)</li> <li>b) バーコードもまた、汎用IT(病院事例②)</li> <li>c) エクセルを舐めてはいけない!</li> </ul> </li> </ol>
--	--

ここから、各具体的内容になりますが、

- 1では、「医療」という言葉で、聖域を区切ることが、世間で一般的に使われている「汎用」品を遠ざけ、結果、「人の命を救う」本質とは関係ない外回りの用途でも、コスト高を招いている可能性に触れました。
- 2では、ビデオモニターやチャット、TV会議機能などの具体的機能に触れながら、昨今のITの進化で、10年後には、今の病院スタッフが当たり前としている「働き方」が変わる可能性を提案しました。
- 3.では、最近のクラウド化の本質として、OSフリー、ブログの勃興の背景にあるプログラムフリーの説明から、フェイスブックや院内ポータルサイトの事例に触れました。

<p>チャットでのやり取りイメージ</p> <p>チャットの元来は、ビジネス用途</p>	<p>ブログの簡易性に、多方向性が入っているフェイスブック</p> <p>SNSであるフェイスブックを使わない手はない</p> <p>SNS: ソーシャルネットワークサービス</p>
--	---

4.では、「お金をかけない IT 活用」の実例として、①大手ベンダーの電子カルテ端末に iPad を自院の工夫で組み込まれた病院さんの実例や、②安価なバーコード機器の活用と、そこから、病院の教育システムに発展された病院さんの実例に触れました。そして、最後に、③だいたい、どこの病院でも使われているであろうエクセルですが、たいていの病院で使われていない、眠っている機能についての解説をしました。

<p>北海道社保さんのケース</p> <p>ずばり、お金をかけずに、iPadと、電子カルテを連結</p>	<p>視点は、出席管理から、人材育成へ【ある病院の実例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まずは、市販のバーコードで、研修の出席管理から始まった。</li> <li>• 出席管理については、これまで単に、会の主催者が「誰が」「何人くらい」参加したかを把握したい、主催部署が参加者の履歴を残したい、それだけの目的。</li> <li>• 教育研修センターによって、</li> <li>• 職員がどんな研修会等に参加したかを<b>職員自身が把握</b></li> <li>• <b>上司(管理者)</b>が自部署の職員がどのような研修を受け、<b>どんな教育が不足しているかなどの把握</b></li> <li>• 今では出席管理も「<b>人材育成</b>」の観点にたった目的へと変化。 ※将来的には、<b>人事考課</b>にも使いたい課題も多い</li> </ul>
--	---

このセミナーを通じて、GR が伝えたかったことは、現在、劇的に変化を遂げている世間の IT の進化は、病院の働き方そのものを変える可能性があり、実際、取り入れている病院も徐々に始めていることと、その意思決定をする際、細かい IT 知識は不要なので、病院経営者自らがメリットの本質を理解して、大まかな指針を示せるかどうかポイントであることでした。

セミナーを基点に、GRが伝えたいこと

- 合理的に考えて、病院という分野にとって、「**汎用型ITサービス**」はとて「**メリット**」のあるサービスであり、「**医療界の情報革命**」ともいってもあながち、過言でないのではないのでしょうか。
- 今回、「**軽量型IT**」なるものが、「**病院にとってどのようなサービスであるか**」のイメージを、各人に具体的にもっていただきたいです。

そして、今後、より病院が「**当たり前前**のことが**当たり前**になされる」という**合理的な判断**にもついた**組織活動**がもっと普及するような**文化創り**にGRも貢献する会社であると見ていただきたいです。

今後とも、末永くよろしくお願いします。

※時間が全般的に押していた関係で、GR サービスの説明を泣く泣く割愛しました（涙；）当セミナーに参加された病院さんでも、詳細な院内説明・相談をご要望の場合、お気軽に声をおかけください。